

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Wonder		公表日		R8 年 3 月 6 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・定員全員が入ると少し手狭ではあるが、その場合は近くに公園などに数名行くことで、スペースを確保している。 ・子どもの状態に応じて学習するスペースを確保することができていると思います。	・外遊び、学習室など活動場所が複数あるため職員の配置など考慮し職員同士が連携する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・職員が多いため、余裕を持った配置数を確保できている。 ・利用人数や特に支援が必要な子どもの人数に応じて職員が配置されていると思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・気温（室温）が適温かの配慮がなされている。 ・1階は遊ぶスペース、2階は勉強や集中するスペースと決めて活動を行っているため、わかりやすくなっている。 ・子どもたちが自ら学習をしたり遊んだりする環境が整えられていると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日、活動終了後に清掃や片づけは欠かさず行っている。 ・毎日子どもたちに掃除をしてもらった後に職員でも掃除を行うことで、清潔を保つことができていると思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・学習室を設け集中できる環境づくりをしている ・事務室でも必要であれば、子どもが使用することもある。 ・気持ち落ち着かないときは個別スペースを確保するなど、子どもの状態に応じて工夫することができていると思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・週に一度の定例MTGで改善点、注意喚起など周知徹底している（議事録作成で欠席の職員にも情報共有） ・毎週のミーティングを通して、それぞれの子どもへの適切な支援や業務の改善などを行うことができていると思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・毎回の利用時の状況をLINE報告。月に一度（一週間）の夕食提供時で保護者様と情報共有（特定の保護者に偏る傾向にある） ・評価表や日々の連絡を通して、保護者の意向を把握することができていると思います。	・今回は初めての評価のため、その結果を受けて改善して予定。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・朝礼、終礼、週に一度の定例MTG実施。その他にSlackで情報共有 ・週に1回の全体ミーティングがあるため、その中で意見を把握している。 ・毎週のミーティングや匿名のご意見箱などで、職員が感じたことを発信しやすい環境が作られていると思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・実地指導にて評価をしてもらっている。 ・実地指導などを通して、第三者の視点を取り入れて業務改善に生かすことができていると思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・理学療法士、作業療法士など外部からの講習やオンラインでの研修。事業所内研修の実施。 ・定期的な研修や日々の職員同士の関わりのなかで、資質向上が図れていると思います。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・HPで公表 ・日々の支援を職員間で共有することを通して、個に応じた支援プログラムを作成することができていると思います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・定期的なアセスメント実施 ・自発管だけでなく、児童指導員等の職員とも話して作成している点 ・毎週のミーティングで子どもの成長や気になることを話し合うことで、課題の分析を行うことができていると思います。	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議の実施 ・子どもに支援に関して全体ミーティングの中で話し合い、共有している。 ・決まった職員のみでなく全職員で子どもに関わることで、子どもの姿や課題を共通理解することができていると思います。 	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が閲覧できるよう保存、管理。 ・事業所の方針を共有してもらっているので、職員全員が同じ方向を向いて支援を行うことができていると思います。 	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部で行った発達検査などがあれば積極的に共有してもらっている。 ・毎日の子どもの様子をこまめに共有し終礼で気になった様子を共有することを通して、子どもの様子を全員で確認することができていると思います。 	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子や会議で話し合ったことを職員で確認することを通して、職員全体で確認新柄具体的な支援内容を設定することができていると思います。 	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のグループに分け中心となる職員が利用者の支援計画や課題に適したプログラムを立案し他の職員と情報共有を行っている ・毎週のミーティングで子どもの療育プログラムについて話し合うことを通して、チームで支援内容について考えることができていると思います。 	・今後、個別担当を変更していく際には、職員のペアを作るなどしてさらに連携を密にしてプログラム作成を行っていただければと思います。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・トライ&エラーを繰り返す小ステップを意識し立案。 ・集団活動では、それぞれの職員の特技やアイデアを生かしながら、日替わりで行っているところ ・個別の担当を数カ月単位で変更することで、固定化しないようにできていると思います。 	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月間スケジュールを作成し利用者がバランスよく個別と集団活動に参加できるようにしている。 ・1日おきに個別活動と集団活動を組み合わせていることで、個別と集団の両方のよさを取り入れた支援を行うことができていると思います。 	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特に集団活動の日は事前に計画書を作成し活動のねらいや流れを周知している。 ・集団活動開始前に各担当職員が計画書を作成することを通して、活動の目的や支援内容などを共有し連携をとることができていると思います。 	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼や定例MTGで意見交換をしている ・子どもの様子を共有したり終礼で気になった様子を話し合うことを通して、共有できていると思います。 	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・Slackで利用者ごとに日々の活動報告を適宜行っている。 ・毎日情報共有のツールやLITALICOに子どもの様子の記録をとることを徹底していると思います。 	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との定期的な面談の実施。 ・モニタリングの時期をこまめにチェックし、計画の見直しを行うことができていると思います。 	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業の期間は公共施設に出かけるなど学校のある日では体験できない活動も組み入れている。 ・4つの活動を意識した個別活動や集団活動を展開することができていると思います。 	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードなどの活用。 ・絵カードを用意するなど、子どもたちがしたいことを自己決定してそれを表現できるような工夫をしていると思います。 	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者だけではなく複数の職員が参加できるよう心掛けている。 ・自発管をはじめ子どもによく関わる職員が出席するなど、子どもの最近の様子を理解した職員が出席していると思います。 	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連携の実施 ・けがが起きたときには関係機関に連絡して対応してもらったこともあり、連携が取れていると思います。 	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時のお迎えの際に担任の先生などその日の状況などの聞き取り。必要に応じて連絡帳の確認。 ・学校の行事予定をこまめに確認するとともに、学校の職員と話す機会を設けて連携を図ることができていると思います。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議において、就学前の子どもの様子や当事業所を利用する前の姿を共有してもらうことができていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ機会がないが、今後必要であれば行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・該当する児童がまだいないため。 ・まだ機会がないが、今後必要であれば行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ機会がないが、今後必要であれば行っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・開業前になるが近隣の方も対象としたイベントの開催。 ・地域の子どもが公園を利用している際には、一緒に遊べることをするなどして交流の機会を大事にしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ機会がないが、今後必要であれば行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEでの日々の活動報告を行いコミュニケーションを図る。 ・毎日子どもが帰ったあとに保護者に向けてその日の様子をお知らせすることで、子どもの伸びや課題について共通理解ができていると思います。 	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食提供週間に設け保護者参加を促しているが、参加して下さる保護者に偏りがあるため幅広い意見交換の場を検討していく。 ・家族が参加できる夕食提供を毎月行うことで、家族支援をしたり必要な情報を提供したりすることができていると思います。 	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から送迎時の会話や、LINEなどで情報共有を行っており、必要時に面談なども行っている。 ・送迎時や面談を通して、悩みにより添い、保護者の気持ちを聞き取る機会を設けることができていると思います。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供の際に保護者も参加してもらうことで、交流の機会を作っている。 ・毎月夕食提供を行うことを通して、利用者が家族や兄弟そろってご飯を食べる場を提供できていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施機関、内容など含め年に2回程度の保護者会開催を検討。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで目立った苦情はないが、LINEや送迎時に意見集約するようにしている。気になる話があれば職員内で協議し丁寧に対応している。 ・苦情について職員間で対応を話し合い、連携して対応するとともに改善しなければならぬ点についても話し合うことができていると思います。 	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・次月の活動予定を公式LINEで通知。代表者のコラムなども同時に発信。 ・毎月コラムを配信したり、SNS等で子どもの日々の姿を発信することができていると思います。 		
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSでのマスクングなど保護者の意向を確認実施。 		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	・意思表示が難しい子には絵カードを用意するなどして、言葉以外の方法でもやりとりができるように工夫していると思います。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・長期休業時など近隣の住民への挨拶。	・まだ機会がないが、今後必要であれば行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・全職員が閲覧可能にしている ・定期的に災害や事故が起きた時の対応を話し合い、保護者にお知らせしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・全職員が閲覧可能にしている ・定期的に災害や事故が起きた時の対応を話し合い、研修や訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に確認を徹底。対処法を保護者と確認、情報共有と事業所内研修の実施。 ・服薬やてんかん発作、アレルギーの有無などを必ず確認し、その対応についても研修を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・職員間でエビペンが入っている場所の確認をしたり、保護者と保管場所を相談したりしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・毎月安全点検を行い、子どもが安心して生活できる場を整えられるよ努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・災害時や各種警報が発令された場合の対応を話し合い、保護者に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット案件があった場合にはすぐに記録をとり、毎週行われるミーティングで共有するなどして、再発防止に努めていると思います。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待について研修をするとともに、職員が虐待行為をしないような職場環境を整えていると思います。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		